

富雄第三中学校区地域ミーティング
(通算第142回)



開催日	令和2年2月17日(月)
開催時間	午後6時00分～午後7時30分
会場	富雄第三小中学校ランチルーム
参加者	51名

意見・質問等	市側の発言
1. 富雄第三幼稚園と富雄保育園の統合の方針と将来のイメージについて	1. 奈良市全体として過少規模の幼稚園を2つを1つにしてこども園にする、若しくは幼稚園と保育園を1つにまとめて新しい施設にするというような動きを順次進めている。従来の幼稚園・保育園に来ていた子どもの継続した保育をどのように保証していくのかという課題を中心に、担当課で具体的な取り組みをしている。今後も様々な利用者や保護者の方の心配の声があればしっかりと伺い、極力事業者の方に引継ぎができるようにしたい。
2. 人口減少に伴う教育や保育園のイメージについて	2. 東京以外の人口が減少していく状況の中で、奈良市も開発から40年経ったベッドタウンがたくさんあり、そのすべてがこの先も維持されるかどうかというのは厳しい見通しをしている。今回の要望施設は統合ということであるが、働く親が多い時代でもあるので新しくきれいなこども園で、この界限の中古住宅も含めて不動産の流通にも少し寄与できるような施設になればと思う。
3. 保育園と幼稚園の利用者に差があることから、マーケティング調査等は行ったのかということについて	3. 幼保の再編計画の見直しを定期的に行っているが、これを行うために、奈良市内を幾つかのブロックに割り、エリアごとにどのくらいの子育てニーズがあるのかという潜在的な調査をしている。幼稚園を希望している人が減少しているため、保育園やこども園に形を変えることで、ニーズに合った政策であると思う。
4. 今年は一学年2クラスまで維持できるが、今のままでは2クラスを維持できないのではないかという話が出ていることについて	4. 奈良市の子どもたちは、約2万3千人いるが、ピーク時の約半分となっている。現状横ばいの地域もあるが、ほとんどが減少している。学校規模適正化の問題として、10年ごとに見直しており、この学校については存続させていこうという方針になっている。しかし、減少していくではないかという意見もあるので、魅力ある学校運営をしていきたい。

5. 幼児教育を実践した成果の中で幼保一体へ吸収されることや、民間化することへの思いについて

6. 幼稚園の先生が地域の方との連携が足りないのではないかということについて

7. 新しいこども園ができ、いろいろな地域から入ってくると思うが、地域の方々を優先して入れていただきたいことについて

8. 開校時より、学校行事としてオーストラリアのハリソン校との交流があるが、訪問する際は全額自己負担であることから、支援してほしいことについて

9. 教育面での交流ということであれば、奈良市と教育委員会から補助を出してほしい。ここは公立の小中学校で、公教育というのはすべての人たちに対して教育を保証していくというのが本来のあるべき姿だと思う。この交流をどのように進めていくというのを公表していただきたいことについて

10. 旧富雄高校の敷地を借りてプレハブを建て、地域の拠点とすることについて

5. 子育てをしやすい環境を作っていく、教育も保育もいいところを取り合わないといけないと思う。こども園の先生方も、我々教育委員会が毎月主催をしている校長会に来ていただいている。民間になっても、幼児教育との連携を大事にしてもらいたい。奈良市は昔から公私立の園長や職員の研修を歴史的に一体としてやってきたという良さがあるので、その辺りについては今後も発揮していきたい。

6. 今までであれば公立の幼稚園は地域のことを密接にとらえていると思うが、幼稚園でも忙しい時代になっているので、以前に比べれば地域との連携が弱まっているかもしれない。なるべく地域と連携していきたいと思っており、園の方にもご協力いただきたい。

7. 公立ではないということもあるので入所についての点数付けというのは課題としてあると思うが、そのような意見をいただいたということは担当課にも伝えていきたい。

8. 奈良市には多数の学校があるので、原則海外交流をするということについては自己負担である。平成30年度はふるさと納税を使うという案が出て、1年では目標額に達しなかったため、2年間かかりご協力いただいた。その結果、子どもたち4名と職員2名の6名を派遣することができた。今後は学校や地域の皆さんとも知恵を出し合っていきたい。

9. 家庭環境を問わずいろいろな機会を保障されるということは大事なことだと思う。本来ならば奈良市のすべての子どもたちに均等に機会をあげたいが、かなりの予算がかかるので、ふるさと納税ということでお金が集まった分だけでも応援してあげようということである。また、集まったお金の使い方として経済的に厳しい家庭には厚めに待遇する等地域の工夫の中で行っていただけたらと思う。

10. 平成23年の国庫補助事業で、10年経たないと転用ができないということなので、令和4年度から使えるようになっている。新設となるとハードルが上がってしまうが、ランチルームをもっと使いやすくしてほしいという要望を以前からいただいているので、市の方もその辺りをクリアできればという考え方がある。あと2年あるので、その間の使い勝手をどうす

<p>11. 公民館やふれあい会館を作る基準について</p>	<p>るのかということになってくると思う。</p> <p>11. 基本的に新しくは作らないということになっている。例えば右京小学校では、当時右京の幼稚園が閉園となり、閉園となった土地を売却して、その中で既存の建物をふれあい会館にするのは市が予算を持つということで設置を行った。都跡地区では耐震性のない古い木造の建物を所有していたので、それは危ないということで、建て替えを行った。未来永劫何も建てる気がないということではない。</p>
--------------------------------	--